

令和6年度第1回日進市総合教育会議 議事録

日 時 令和7年1月15日(水) 午後4時から午後5時15分まで
 場 所 日進市役所南庁舎2階第5会議室
 出 席 者 近藤裕貴(市長)、岩田憲二(教育長)、武田立史(教育長職務代理者)、小林秀一(教育委員会委員)、伊藤志門(同)、市来ちさ(同)、吉田優香理(同)
 欠 席 者 なし
 事 務 局 石川雅之(総合政策部長)、杉田武史(同部調整監)、
 鬼頭聰(同部次長兼企画政策課長)、秋山里奈(同課企画経営係主査)、
 根北直幸(同課同係主事)
 説明の為に 伊東あゆみ(生涯学習部長)、加藤誠(学校教育部長)、高柳秀史(学習政策課長)、
 出席した者 桃原勇二(学校教育課長)、加藤豊司(指導主事)
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有(3名)
 次 第 1 開会
 2 あいさつ
 3 議題
 (1) 協議事項 いじめ防止基本方針の改定について
 (2) 報告事項 コミュニティ・スクールの導入について
 配付資料 資料1 いじめ対策及びいじめ防止基本方針改定に向けた取り組みについて
 資料2 コミュニティ・スクールの導入について

発言者	内 容
	1 開会
	2 あいさつ
	3 議題
	議題 (1) 協議事項 いじめ防止基本方針の改定について (2) 報告事項 コミュニティ・スクールの導入について
市長	議題 (1) について説明をお願いします。
学校教育部	(資料に基づき説明)
市長	子どもたち意見を基本方針にどのように盛り込んでいきますか。
学校教育部	通常は文部科学省の生徒指導提要に基づいた項目を書くこととなっていま す。ランチミーティングを通して、いじめSOSの使い方がまだ周知できてい ないなど、分かってきたことがありますので、このあたりを独自の取り組みと して予防策に盛り込もうと考えています。
市長	懇談内容の中で、いじりがコミュニケーションのひとつになっており、子ども だけでなく、大人もしていると書いてありますが、これは子どもと大人なの か、大人同士なのかどちらですか。
学校教育部	先生が子どもに気軽に話をし、それが子ども同士になったとき、実は少し嫌な 思いをしてしまっている場合もあるのではないかという意見がありました。
市長	いじめもいじりも相手が嫌な思いをしたなら、被害者だと思いますので、いじ

	め防止ではなく、いじめ・いじり防止と定義付けをした方が良いと思います。
委 員	定義付けが難しい中で、いじりは1対1で、いじめは1対複数人だと思っていて、他人の悪口を聞かないと心掛けていいと思います。他人の悪口を言われたら、本人に言うように伝えれば、本人も言われて嫌だったことを理解できます。当事者同士が話さないような形にしてしまうと、自分と他者の関係が無くなってしまい、子どもの発達段階上どうなのがなと思います。
市 長	この問題を子どもがどう感じているかを考えるときに、大人同士だけではなく、子ども同士でいじめについて話し合う機会を作っても良いと思います。
教 育 長	重大事態などは別ですが、加害者が被害者に代わり、その逆も起こっていくので、不快な思いをしていると周囲が感じた時点で、大人が関わりつつ、子どもたちに人として何を学ばせるかが一番大切だと思います。子どもが自分たちで解決できるのか見極めながら介入し、学校では抱えきれない案件についてはスクールロイヤーに判断してもらい、解決に向けて学んでいければ良いと思います。
市 長	子どもに対し、先生がいじりをするのは、必ず直してほしいです。
教 育 長	そこは必ず直していくべきだと思います。
委 員	先生も失敗してしまうことがあるので、先生がいじってしまった場合、嫌な思いをしたことを子どもが言える関係性を構築することが大切だと思います。
委 員	先生は成績をつける立場で、中々意見を言えなかったりするので、ガイドラインを作ることでその辺りをケアできれば良いと思います。
委 員	先生が子どもをいじるのは失敗云々ではなく、自覚の問題だと思います。子ども真似してしまうので、やめなければいけないと思います。
市 長	先ほども少し触れましたが、いじめ・いじりをテーマに子どもたちで話し合い、そこから抽出されてきたものを、いじめ防止基本方針に反映していっていければと思います。
教 育 長	生徒会との懇談会のように、子どもが自由に発言でき、子どもたちから情報が得られる機会を作っていければと思います。
委 員	いじめといじりは受け取り方に関係する部分も大きく、子ども達がお互いの認識が違うことを理解できるよう、話し合いが重要になってくると思います。
委 員	担任の先生だけではなく、部活動の先生やその他の先生も子どもたちに少しでも変化を感じたら共有していくことが大切だと思います。
教 育 長	次の報告事項にも繋がりますが、学校、家庭だけでなく、地域でさまざまな活動している人にコミュニティ・スクールという形で関係していただき、多くの目で子どもたちの成長を見守っていただきたいと思います。
市 長	議題（2）の説明をお願いします。
生涯学習部	(資料に基づき説明)
市 長	文部科学省のコミュニティ・スクールの形にとらわれることなく、日進市の実情に合わせて、子ども達が成長できる形を作っていただきたいと思います。
委 員	子どもたちの意見を取り入れるため、中学校であれば生徒会を入れた方が良いと思います。

市長	今日の議題は以上になります。議事進行を事務局にお返しします。
事務局	これで本日の会議を閉会します。
	(閉会)